

## 音更町総合計画審議会会議結果（要旨）

会議名	音更町総合計画審議会 社会福祉部会（第4回）
開催日時	平成27年9月28日（月） 午後6時から午後7時40分
開催場所	音更町役場2階 第1・第2委員会室
委員出席者	河田部会長、増中部会長代理、加藤委員、正保委員、瀧上委員、日向委員
事務局出席者	荒井町民生活部長、古田保健福祉部長、岸本町民課長、葛谷福祉課長、谷川保健センター事務長兼地域包括支援センター事務長兼保健課長、田村環境生活課長、樋田子ども福祉課長、重松高齢者福祉課長、傳法高齢者福祉課予防調整担当参事、傳法企画財政部長、渡辺企画課長、西岡企画調整係長、高田企画調整係主任
議題・諮問内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 部会長あいさつ</li> <li>2 会議の進行等について</li> <li>3 議件             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</li> </ol> </li> <li>4 その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の審議会の内容及び日程等について</li> </ul> </li> </ol>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の体系</li> <li>・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の考え方</li> <li>・音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策と第5期総合計画基本計画との関連</li> <li>・第5期総合計画後期基本計画見直し案（総合計画審議会専門部会資料）</li> </ul>
会議結果	下記のとおり
出された主な意見等	<p>■音更町まち・ひと・しごと創生総合戦略について</p> <p>委員：農業労働力の確保対策事業とは具体的にどのような事業なのか。</p> <p>事務局：北海道の農業は夏忙しくて冬は仕事がない。ところが本州や九州、四国は逆になるということで、そういった労働力を補い合うことができないか検討を進めている。</p> <p>委員：農業者に聞くと、労働力が非常に確保しづらいと。現実を見ると非常に難しい対策ではないかと思う。</p> <p>事務局：確保対策事業は現在動いている話であり、それとは別に、新規就農者の確保についても進めており、二本立てにしている。そういったことによって、後継者の育成、確保にもつなげたいということで設定している。</p> <p>委員：観光については、バスやLCC自体にもコマースをかけるという方法で知名度を上げようとしているが、根本の「おとふけ」と読めないというレベルの低いところで販促を行っている部分が非常に多い。アンテナショップをつくと非常にお金がかかるので、細かいところで力を集中した方がいいと思う。</p> <p>委員：音更での交通手段は基本的に車。空港から来るのにはタクシーかバスで、高速に乗ったら音更はきっとスルーするだろうし、そういう必要な何かがあるのかなと思う。</p> <p>事務局：インターチェンジの魅力発信拠点がほしいということで検討している段階にある。また、スマートインターチェンジを何とかできないか検討中で、それができれば温泉方面に乗り降りできるような形になる。ハードルは高いが関係機関と話を進めている。</p> <p>委員：音更町は生活するのに便利で、困らない程度のものが揃っている。それが音更の最大の魅力だと思う。</p>

委員：医療機関、高齢者施設もあり、子育ての支援もあって、障がい者に対しても力を入れていて、住みよいところだと思う。

委員：子どもを産み育てるのなら、産婦人科を1件つくるという単純なものではないのか。

委員：妊娠中の支援が手厚くあったらいいと思う。

事務局：子どもが生まれたら祝い金を出すところもあるが、音更の場合は年間350人だとすると年間1億8千万もかかる。個性があった方がいいのは当然だが、財源の問題がついてまわるので難しさはある。

委員：地域密着型サービスは、どのくらいあるか。整備を進めるとあるが、現在のどの程度整備は進んでいるのか。

事務局：グループホームが7か所、29人以下の特養が1か所、小規模多機能が2か所、認知症デイが1か所。

委員：ここ2、3年で増えている。やはり、家庭で介護をするのには難しさがどうしても出てくる。認知症高齢者が自宅で生活していて徘徊などで1年間にどれくらい搜索しているのか。

事務局：SOSネットワークを使い搜索は3回ほどしたが、認知症高齢者の方はその中にはいなかった。十勝のSOSネットワークの件数はわからないが、何軒かは搜索しているケースがあると思う。

委員：SOSネットワークに登録していて、たまにメールが来るが、認知症であるかどうかを書いてあるだけで、声をかける側の対応が若干変わると思う。名前は書いてあるがこの人の今の状況がどうなのかわからないので、そこを検討していただけるとありがたい。

事務局：服装やその方の特徴等もわかれば配信しており、搜索に役立てていただきたいと思っている。

※専門部会の開催は今回が最後で、今後は必要に応じ部会長会議で調整するものとし了承された。